

ジェットロ「ビジネス短信」添付資料

表1 2019年度シベリア鉄道による貨物輸送実証事業一覧

番号	事業者(荷主)	輸送の概要(品目)	区間	日数
1	東洋トランス (マキタ)	危険品輸送(電動工具・部品)	富山-ポーランド	16
2	日新 (日触物流)	タンクコンテナによる化学品輸送	神戸-チェコ	21
3	日本通運 (キトー、信越電装ほか)	輸入混載貨物輸送 (自動車部品、輸送容器など)	ドイツ-横浜	22
4	郵船ロジスティクス (ヤマハ発動機)	精密機器輸送(精密機器)	名古屋-ドイツ	24

(出所) 国土交通省ウェブサイト

表2 検証結果

番号	検証内容	結果
1	輸送コスト	いずれも海上輸送比で1.5倍程度またはそれ以上
2	リードタイム	海上輸送比で約半分。ただし、定時性が不透明。
3	輸送に係る手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・危険品に関してロシア側の規則の不透明さから積み出し港でコンテナへの積み込み直しが発生。 ・貿易書類などにロシア語訳が要求され、追加作業と費用が発生。
4	輸送環境品質	一部貨物の輸送では継続的な軽度の揺れや、突発的な衝撃が記録されたが、精密機器輸送をはじめ輸送貨物そのものへの影響は確認されなかった。
5	貨物位置情報の取得	ポーランドから先のトレース情報は鉄道オペレーターに要問い合わせ
6	コンテナ積み替え/鉄道積み替えの荷役作業	特段の問題なし

(出所) 国土交通省ウェブサイト